



有明高専だより

第165号

2024. 4



夕日を浴びた6号棟（旧情報棟）の外観



起業家工房開所式



ありタムフェスタ（応援団集合写真）



ありタムフェスタ（応援団）



クラスマッチ



ありタムフェスタ（ステージライブ）

- 校長挨拶 1
- 学生の活躍 2～3
- 産学官連携関係 4
- 学生会だより（ありタムフェスタ） . . . 5～6
- 学生会だより（クラスマッチ） 7

目次

- 卒業生・修了生の進路 8
- 定期演奏会 9
- コンテスト関係 9～10
- 国際交流関係 11～12
- 部活動紹介 13

校長だより

「イノベーション創出をめざした人財育成」

有明工業高等専門学校 校長 八木 雅夫



歴史をふりかえり未来を展望しつつ、有明高専創立60周年記念事業が実施されてきた令和5年度末。これまでの本科累計卒業生数9091名、専攻科累計修了生数606名の数字が、60年にわたる有明高専の着実な歩みをものがたります。

有明高専は、昭和38年（1963）に国立高等専門学校の第2期校として、三池炭鉱と石炭化学コンビナートの隆盛とともに急速な発展をとげた大牟田・荒尾の二市を中心に構成される炭都に高等教育機関として創設されました。

平成16年（2004）には、国立高専は一つの独立行政法人「国立高等専門学校機構」となり、全国的なネットワークを活かして、国際化、高度化とイノベーションを推進してきました。

この10年間における全国に先駆けた動きとして、有明高専は平成28年（2016）より創造工学科一学科6コース制に改組し、2年生の後期より専門のコースを選択する方式により、入学志願者のより広範な志望に対応できるようになりました。

平成31年（2019）にはタイ高専が誕生し、アジアを中心にKOSENとして国際的にも知られるようになりました。グローバルな取組にも積極的で、Covid-19の影響で延期されてきたシンガポールへの海外研修は、令和5年（2023）の夏には2、3年生414名参加で、学校行事として実施しました。さらに、九州沖縄地区9高専の専攻科と九州大学とが連携した教育も始動したばかりです。熊本県内への世界有数の半導体製造企業の進出を踏まえ、九州沖縄地区の

高専と連携して半導体人財育成にも着手しています。さらに、高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業により「起業家工房」を学内に設け、有明工房生を募集するなど、アントレプレナーシップ教育を推進しています。

現在、情報化社会の後に到来するSociety 5.0、すなわちサイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会に向けて、時代は進みつつあります。と同時に、産業構造変化、地域社会の少子化高齢化、急激なグローバル化、感染症の流行、自然災害の頻発など、答えや対策が明らかではないさまざまな課題が現実化しており、これらを先端技術の持続的な開発を活かして解決する人財が求められています。

有明高専では、「幅広い工学基礎と豊かな教養を基盤に、創造性・多様性・学際性・国際性に富む実践的な高度技術者の育成をめざす」ことを教育理念とし、人財育成を推進しています。これまでの実績や経験を活かしながら、多様な課題解決に積極的にチャレンジし、科学技術の成果を社会に実装することにより、社会にイノベーションをもたらすソーシャルドクター（Social Doctor 社会のお医者さん）やクリエイター（Creator）を育成することをめざしています。

今後も、関係の皆様のご理解を得て、イノベーション創出をめざした人財育成に取り組みます。

学生の活躍

NAIST次世代科学技術チャレンジプログラム メンバー選抜を受けて

2年5組 木村 諭利

私はこの度、奈良先端科学技術大学院大学（NAIST）が募集した『次世代科学技術チャレンジプログラム NAIST-STELLA：「共創」が育む主体性の未来』の第一期生（全国で約40名）として選拔されました。このプログラムは国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）・次世代人材育成事業『次世代科学技術チャレンジプログラム（令和5年度、高校型）』の一つで、「大学のさらにその先に広がる探究・研究の世界を見て、知って、飛び込むことのできる人材育成プログラム」として実施されるものです。令和5年8月から令和7年3月までの20か月の間に対面とオンラインで実施されるプログラムを受講していきます。去年8月に現地で行われたスタートアップ合宿にも参加して、その後もオンラインで毎週1回の授業、2週間に1回の大学院生も含めたディスカッションにも参加しています。学校の授業とプログラムの両立は難しいですが、最後までやり遂げたいです。



八木校長にプログラム参加について説明する様子（筆者）

2023年度応用物理学会九州支部学術講演会 にて発表奨励賞を受賞

エネルギーコース

2023年11月25日（土）および26日（日）に九州大学 伊都キャンパスにて開催された「2023年度応用物理学会九州支部学術講演会」において、本校学生が発表奨励賞を受賞しました。

本賞は1997年の創設であり、選考対象は大学院生を含み、最年少学年となる高専本科5年生の受賞は特筆すべきもので本校では初の受賞者となります。本研究は炭素原子を蜂の巣状の六角形格子構造をしたものを「グラフェン」と呼び、このグラフェンの化学修飾や改質が広く望まれています。グラフェンは機械的強度が高いことに加えて、高い熱伝導性を有するとともに電気抵抗が極めて低いとされている原子厚の二次元炭素材料です。これらの性質を利用して、高強度かつ軽量な新規炭素材料や超高速トランジスタを研究ターゲットとしており、本研究では光電子制御プラズマ、特にイオンダメージを防ぐことができる光電子制御タウゼント放電（PATD）領域でグラフェンを処理した時のラマン分光解析を報告したものです。

なお本学会参加に際して、有明広域産業技術振興会会員企業である国光施設工業株式会社様から寄附金援助を受けました。

- ・受賞学生 5年エネルギーコース 内藤陽大（指導教員：鷹林将）
- ・講演題目 光電子制御プラズマによるグラフェンの構造制御（I）～ラマン分光解析～



八木校長（左）、鷹林准教授（右）との記念撮影

石川県輪島市での復旧支援活動に参加

応用化学コース 5年 末宗 エリヤ

私は、3月28日から4月3日に石川県輪島市にて所属するNPO法人九州キリスト災害支援センターの活動を通じて復旧支援ボランティアに参加しました。活動初日は悪天候のため、屋外での作業ができないため支援物資を備蓄している倉庫で在庫管理の業務を行いました。現場リーダーから「今日の活動内容はテレビ等で取り上げられるような瓦礫を撤去したり、家財を搬出するような目立つ作業ではなく、地味で目立たない作業だったと思います。しかし、このような目立たない作業があるからこそ災害支援は成り立っているのです。」との話を受け、被災者に直接会うこともなく、恐らく直接感謝されることも無い活動こそが災害支援を支えている土台であると感じました。翌日からは震災により大規模半壊の判定を受けた家屋から、家具や壁材、瓦等を搬出する作業を行い、被災者の方にとって大切なものを廃棄することがないよう、一つ一つ確認を取りながら丁寧に作業をしました。輪島市は未だ手付かずの現場が多く、長期間にわたる支援活動が必要だと感じました。

被災地域の日も早い復興を願うとともに、ボランティア活動を通じて学んだことを今後の学生生活に活かしていきたいと考えています。



家屋から家具を運び出す筆者

初めての学会発表での「緊張」と「受賞」

メカニクスコース 5年 木村 和香子

私は「ツイストドリルの切削力低減可能な切削機構の開発」というテーマで発表を行いました。本研究はツイストドリルの刃先形状や切りくずの排出性に着目してより小さい力で切削することを目標にしたものです。その中で、今回の学会発表は、私にとって初めてで不安と緊張でいっぱいでしたが明石先生のご指導のもと、資料作成や発表練習に励みました。その結果、企業特別賞として「九州精密工業賞」を頂き今後の研究に対する意欲と自信に繋がりました。また、いただいた質問や意見を自分で噛み砕いてその後の研究に取り入れたことで、卒業研究発表にも活かすことができたと感じます。また、ドリルやフライス等の切削工具を製造する企業や精密加工をしている企業の方とお話でき、今後、さらに研究を進める上でのヒントを得ることができました。



有明高専から受賞した学生達
(左から筆者、6M山下さん、6M椎葉さん)

第1回高専起業家サミットで優秀賞受賞

生産情報システム工学専攻 1年 道音 洸樹

2024年3月11日(月)、第1回高専起業家サミット本選が一橋講堂にて開催されました。

全国の高専より総勢42校43キャンパス・98チームの応募の中、見事書類審査を勝ち抜いた50チームが本選進出となりました。

有明高専からは私と生産情報システム工学専攻 1年 木村隆暉さんがチーム「サーキットデザインBoys」として出場しました。KOSEN「サーキットデザイン教育インストラクター養成ビジネス」と題して、高専GCON 2年連続ファイナリストの「サーキットデザインGirls」が発表した「サーキットデザイン教育(多世代・早期の半導体・集積回路教育)」を全国展開するためのビジネスプランについてプレゼンとポスターセッションを実施しました。

審査の結果、優秀賞を受賞することができました！有明高専全体として紡いできた成果だと思うので、周りの人や環境への感謝を忘れずに、これからもコツコツ頑張ります。

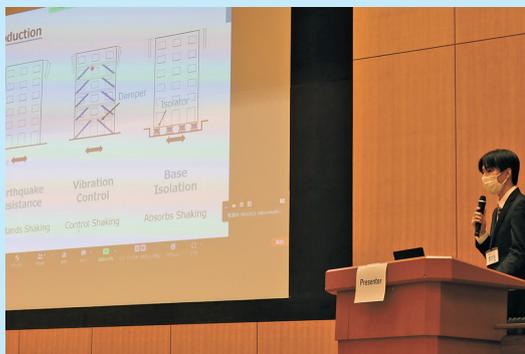


賞金50万円のパネルと表彰状を手に
(左から木村さん、筆者)

学会での優秀発表賞と英語査読論文掲載

建築学専攻 2年 田原 慎太郎

私は、学外での研究発表を経験しなかったため専攻科へ進学しました。専攻科での2年間では、多くの研究発表の機会に恵まれました。2023年3月の高専研究国際シンポジウム(KRIS2023)では英語による発表を行い、同年11月に開催された日本鋼構造協会の鋼構造シンポジウムでの発表では、優秀発表賞を受賞しました。また、KRIS2023での発表内容をもとに英語で論文を書き、その論文がインパクトファクターのある海外雑誌MDPIのMachinesに掲載されました。英語での執筆はかなり大変でしたが、この経験は自分自身の大きな自信へと繋がりました。与えられた自分の成長の機会を逃さずに様々なことに挑戦することが、充実した専攻科生活を送るコツだと思います。私は令和6年度から、大学院に進学予定なので、専攻科での経験を活かして更なる飛躍を目指したいと思います。



KRISで英語発表する田原さん



MDPI掲載論文QRコード

産学官連携関係

有明高専起業家工房について

令和4年度第二次補正予算「高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業」に本校が採択され、スタートアップ教育環境の整備を進めてまいりました。地域共同テクノセンター内に起業家工房推進室を設置し、全コース等から選出された教職員を配置し、本事業の運営に参画します。さらに、有明海地域の企業等とネットワークを持った人材を配置するとともに、社会実装教育の形成に向けた不足リソースを外部と連携し調達する仕組みを確立し、個々の学生の事業計画に沿った社会実装教育を行います。

地域教育支援事業

下表の通り、本年度も連携協力支援事業として、大牟田市、荒尾市の小学校、中学校、特別支援学校の児童、生徒達への出前授業、その先生方を対象とした教員教育講座を実施しました。

またその他依頼事業として、大牟田市石炭産業科学館での高専ロボット体験を始めとする数々のイベントに参加しました。先生方を始め参加及びご協力いただきましたすべての方々に、心より深く感謝申し上げます。

No.	学校名・主催	講座名	開催日
1.<小中学校対象>（連携協力推進会議事業）			
【大牟田市教育委員会】			
1	羽山台小学校	巨大空気砲を作ろう！	10月30日（月）
2	高取小学校	水の科学、一瞬にして色が変わる透明の水	11月2日（木）
3	平原小学校	液体窒素で遊んでみよう、人工イクラをつくろう	11月12日（日）
4	天の原小学校	巨大空気砲を作ろう！	11月13日（月）
5	中央小学校	巨大空気砲を作ろう！	11月28日（火）
6	倉永小学校	液体窒素で遊んでみよう	11月28日（火）
7	明光学園中学校	IchigoJamによるプログラミング	2月28日（水）
【荒尾市教育委員会】			
1	荒尾第一小学校	ジャイロ効果の逆立ち君を作ろう！	7月11日（火）
2	荒尾第一小学校	水の科学	9月12日（火）
3	荒尾第一小学校	カラフルな人工イクラを作ってみよう	12月12日（火）
2.<小中学校教職員対象>（連携協力推進会議事業）			
1	大牟田市中学校・特別支援学校教育講座（理科・社会）	情報教育教育講座「授業におけるタブレットの活用例について」	7月26日（水）
3.<一般市民対象>			
1	市民大学講座	「方言研究の現在：九州地方の中の大牟田地域のことば」	11月2日（木）
2	市民大学講座	「有明高専発！サーキットデザイン教育～ぬり絵とゲームで学ぶ半導体～」	11月11日（土）
4.<その他依頼事業>			
1	大牟田市石炭産業科学館	大牟田市石炭産業科学館での高専ロボット体験	5月5日（金・祝）
2	おもしろサイエンスわくわく実験講座2023	ジャイロ効果の逆立ち君を作ろう！	5月20日（土）
3	大牟田市市民協働部生涯学習課	スライム作り	7月29日（土）
4	大牟田市石炭産業科学館	大牟田市石炭産業科学館での三池炭鉱で使用された「電気機関車」の乗れるモデル運転展示	7月29日（土）
5	大牟田市立図書館	理科読「プログラミングとAI」	10月22日（日）
6	大牟田市立図書館	理科読「甘さのひみつ」	11月12日（日）
7	おおむた生涯学習まちづくり推進協議会	生涯学習ボランティア登録派遣事業「まなばんかん」企業出前講座「がんばる地場企業」表彰式・発表会	12月10日（日）
8	大牟田市市民協働部生涯学習課	高校生まちづくり体験事業「絆と夢の青春祭」	2月12日（月・祝）
5.<本校主催事業>			
1	（共催）北九州市立大学PARKS運営事務局 TEPIA先端技術館	ものづくり体験教室&起業家マインド育成講座	8月22日（火）
2	（共催）電子情報通信学会九州支部	第18回エレクトロニクスものづくり体験教室 ラジオを作ってみよう	12月9日（土）



理科読（甘さのひみつ）



倉永小学校出前授業



高取小学校出前授業

学生会だより

ありタムフェスタ

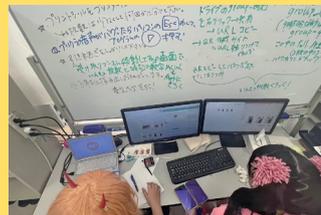


R.5年11月3日・4日に第5回ありタムフェスタが開催されました。

テーマ「1/0」は無敵大という意味で、学生みんなが無敵のポテンシャルを発揮するという意味を込めました。振り返ると、テーマ通りの学生の姿が様々な場面で見られたと思います。また、文化祭と体育祭の融合ということでとても充実した2日間だったと思います。

最後に、ありタムフェスタへ足を運んでくださった皆様、シャトルバスやキッチンカー等で運営側としてご尽力いただいた皆様、心より感謝申し上げます。

E



C/L



M



I



A



イントロクイズ



リレー・借り人競争



ダンス・バンド



高専生の主張



2年生：クラスの出し物



1年生：造形展示



文化部



校内風景



学生会だより

クラスマッチ

12月15日に春季クラスマッチが開催しました。晴天時競技（サッカー、バスケ、卓球、ダーツ等）が実施され、どの競技も大変盛り上がりました。特に冬季クラスマッチの代名詞ともいえるサッカーは、例年、何か月も前から自主練をするクラスが多くおり、当日は非常に熱狂に満ち溢れていました。学生会としては、先輩方と活動できる最後の機会だったため、これまでの成果を引き継ぐ想いで運営に取り組みました。次は春季クラスマッチ。新一年生が入学し、どのようなクラスマッチになるかとても楽しみです。

最優秀クラス	4 M	
優秀クラス	5 A	
敢闘賞クラス	1 - 1	
	優勝	MVP
サッカー	5 I	5 I 今井 和人
男子バスケ	3 M	3 M 坂田 楓之介
女子バスケ	2 - 3	2 - 3 古川 実也
ダーツ	5 A	5 A 末次 大暉
卓球	1 - 4	1 - 4 城戸 恒希
ソフトテニス	4 M	4 M 大野 倫太郎



卒業生・修了生の進路

エネルギーコース

就職 旭国際テクネイオン(株), NTTアノードエナジー(株), キヤノン(株), (一社)九州電気保安協会, 九州電力(株), 国光施設工業(株), サンクスエンジニアリング(株), JFEプラントエンジ(株), (株)シティアスコム, Japan Advanced Semiconductor Manufacturing (株), 住友電気工業(株), ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株), 田辺工業(株), 中部電力(株), 東海旅客鉄道(株), トーヨーエイテック(株), 西日本旅客鉄道(株), パナソニックエナジー(株), 三菱電機ビルソリューションズ(株), 三菱電機プラントエンジニアリング(株), メタウォーター(株), 安川オートメーション・ドライブ(株), ローツェ(株), ローム・アポロ(株)

進学 有明高専専攻科, 神戸大学, 豊橋技術科学大学, 九州工業大学

応用化学/環境生命コース

就職 味の素(株), 岩谷瓦斯(株), ヴェオリア・ジャパングループ, 大阪シーリング印刷(株), (株)カネカ, 関西電力(株), 関東化学(株), キリンビール(株), (株)久原家, KMバイオロジクス(株), 沢井製薬(株), サントリー(株), (株)資生堂 福岡久留米工場, 昭栄化学工業(株), 大日精化工業(株), DM三井製糖(株), 東京ガスネットワーク(株), 東邦化学工業(株), (株)東洋新薬, 東レ(株), 日東電工(株), 日本化学産業(株), 富士フィルムビジネスソリューション(株), 三井化学(株), 三菱ケミカル(株), 雪印メグミルク(株)

進学 有明高専専攻科, 九州工業大学, 豊橋技術科学大学, 長岡技術科学大学, 福岡大学

メカニクスコース

就職 キヤノンメディカルシステムズ(株), (株)近鉄エンジニアリング, (株)SUMCO, (株)三晃空調, サントリー(株), JASM(株), 信号電材(株), 新明和工業(株), スズキ(株), 大電(株), (株)タンガロイ, (株)中央エンジニアリング, DMG森精機(株), トーテックアメニティ(株), (株)ニコン, 日産自動車九州(株), パナソニックエナジー(株), パナソニックコネクト(株), (株)半導体エネルギー研究所, (株)日立ハイテクマニュファクチャ&サービス, ファナック(株), 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株), 本田技研工業(株), 丸善石油化学(株)千葉工場, (株)三井三池製作所, 三菱電機エンジニアリング(株), ヤンマー建機(株)

進学 有明高専専攻科, 九州大学, 熊本大学, 豊橋技術科学大学

情報システムコース

就職 (株)ASKプロジェクト, ANAコンポーネントテクニクス(株), オムロンフィールドエンジニアリング(株), 木村情報技術(株), (株)クレスコ, (株)佐賀銀行, (株)ジーダット, (株)シティアスコム, ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株), (株)ソフト九州, 大日本印刷(株), TOTO(株), 凸版印刷(株), (株)トッパン・テクニカル・デザインセンター, (株)ニコン, 西日本高速道路エンジニアリング九州(株), 西日本電信電話株式会社, 西日本旅客鉄道(株), 日清紡マイクロデバイス(株), パナソニックコネクト(株), 平田機工(株), ファナック(株), (株)FIXER, (株)福岡銀行, 富士ソフト(株), 三菱電機エンジニアリング(株), (株)ラック, ローム・アポロ(株)

進学 有明高専専攻科, 九州工業大学, 熊本大学, 豊橋技術科学大学, 長岡技術科学大学

建築コース

就職 上村建設(株), 大牟田市役所, (株)奥谷組, 鹿島建設(株), (株)河村佐藤デザイン, 協和設計(株), (株)熊谷組, 五洋建設(株), 佐藤工業(株), 三建設備工業(株), (株)ジェイアール西日本ビルト, JFEシビル(株), 清水建設(株), (株)スペース, (株)住工房+α, 住友不動産(株), 住友林業ホームエンジニアリング(株), (株)竹中工務店, 電源開発(株), 戸田建設(株), トランスコスモス(株), 福岡市役所, 前田建設工業(株), 三井住友建設(株), 三菱地所プロパティマネジメント(株), (株)野生司環境設計, (株)LIXIL 有明工場, 若築建設(株)

進学 有明高専専攻科, 鹿児島大学, 熊本大学, 豊橋技術科学大学, 山口大学

生産情報システム工学専攻

就職 (株)ジーダット, (株)シティアスコム, ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ(株), 千代田エクスワンエンジニアリング(株), 日清紡マイクロデバイスAT(株), 日清紡マイクロデバイス(株), (株)ハイマックス, 三菱電機エンジニアリング(株), (株)安川電機

進学 九州工業大学大学院, 九州大学大学院, 熊本大学大学院, 佐賀大学大学院, 東京工業大学大学院, 豊橋技術科学大学大学院

応用物質工学専攻

就職 (株)日本触媒, 日東電工(株), 三井化学(株), (株)レゾナック 川崎事業所

進学 九州大学大学院

建築学専攻

就職 (株)アネシス, (株)大林組, (株)構造FACTORY, 極東興和(株), (株)さかぐち, 住友林業(株), 戸田建設(株)

進学 豊橋技術科学大学大学院

定期演奏会

定期演奏会

メカニクスコース 4年 吹奏楽部部長 今川 萌

1月14日に私達有明高専吹奏楽部は大牟田文化会館で開催された第55回定期演奏会を無事終了することが出来ました。コロナウイルスが落ち着いてきたとはいえ、まだまだ大変なこの時期に無事に定期演奏会を終えることが出来たのも、全ては支えてくださっている学校や保護者、地域の皆様を始めとした、定期演奏会にご協力くださる方々あっての事です。今年は、2名の5年生が今回を期に引退し、新たな吹奏楽部へと変わっていきますが、今後も後輩たちが良い経験を積めるよう、この演奏会が続いていくことを望んでいます。最後に、今回の演奏会にご来場くださった皆様、また応援して下さった皆様へ深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



コンテスト関係

第34回高専プロコンで企業賞を受賞

情報システムコース 3年 齋藤 健吾

私たちコンピュータ研究部8名は、高専プロコンの競技部門・課題部門に出場しました。

競技部門のテーマは陣取りゲームを模した一対一の対抗戦であり、私たちは最短経路アルゴリズムや貪欲法を用いた戦略で戦いました。この結果、ファーストステージを2位、セカンドステージを勝ち抜け、ファイナルステージへ進出しました。

課題部門のテーマは「オンラインで生み出す新しい楽しみ」であり、私たちは普段の学習をもっと楽しいものにするためのアプリケーション「Learn Mate」を制作しました。この結果、起業家甲子園の出場権、NICT賞、jig.jp社から企業賞を頂きました。

共同開発は大変でしたが、相手校に勝てたときやアプリの好評をいただいたとき、ここまでやってきて良かったと思いました。



全国高専デザコンで審査員特別賞を受賞

建築コース

11月11日、12日に舞鶴市で開催されたデザコンの構造デザイン部門、創造デザイン部門において、各1チームが審査員特別賞を受賞しました。

構造デザイン部門は軽くて強く、かつ、デザイン性がある橋をつくるもので、54チーム中9チームしか全ての荷重をクリアできないという難易度の高い課題でした。その中で全ての荷重をクリアできました。

創造デザイン部門では、PLATEAUの活用を踏まえた「デジタル技術を用いたwell-beingに向けた都市と地方の融合」という課題で全国出場者中、唯一本科3年生のみのチームで有明海を生かした地域活性化の提案を行いました。

大会直前にインフルエンザの流行で学校閉鎖などありながらも、ここまでたどり着いた学生たちの頑張りを誇りに思います。



プレゼンテーションをする創造デザイン部門チーム



受賞する構造デザイン部門チーム



受賞する創造デザイン部門チーム

ロボコン九州沖縄地区大会で3年連続受賞して

情報システムコース 3年 福井 織羽

ロボット研究部は10月15日に開催された「高専ロボコン2023九州沖縄大会」に出場しました。今年のテーマは「もぎもぎ！フルーツGOラウンド」で、段差やロープ等の障害物を越えて、2.5m上空のフルーツに見立てたボールネットを回収して点数を競う競技です。

有明高専からは2チームが出場し、Aチームの「SayGo!しろとらさん」は、見た目や機能、操縦方法にこだわって軽トラックを再現したロボットです。Bチームの「はしれ！タイヤ起くん」は、シンプルさと競技への機能性を重視して試作を重ねた高速移動可能なロボットで、障害物を難なく華麗に通過する姿に歓声が沸きました。

今大会では両チームとも特別賞を頂いて3年連続の両チーム受賞となりましたが、目標である全国大会出場を果たせず、悔しかったです。次の大会では、今大会の反省点を活かして、さらにいい報告ができるように頑張ります。今後とも応援よろしくをお願いします。



有明高専Aチーム「SayGo!しろとらさん」(左端が筆者)



有明高専Bチーム「はしれ！タイヤ起くん」



試合前のビットでの一コマ

国際交流関係

令和5年度後半に実施した事業

昨年は新型コロナウイルス感染症による制限が緩和され、これまで以上に国際交流関係の活動の幅が広がってきました。特に海外渡航に関してはコロナ禍にはなかった活発さを取り戻し、なおかつ新しい形での取り組みへ展開するための1歩を踏み出したように思います。

その中でも最も特徴的なものが「2年生海外研修」です。令和5年度は2年生に加えて、前年に実施を見送られていた3年生と合わせて414名がシンガポール研修を経験しました。博物館等の施設見学だけではなく、B&Sプログラムという、現地の学生と行動を共にして街全体での自由研修をするという機会をもちました。語学研修としての側面とあわせて、文化的な差異を越えて理解し合い行動することを実感したのではないかと思います。



シンガポール研修の様子



<海外からの学生受入>

海外学生の受入活動として、昨年12月にはシンガポール・ポリテクニック校 (SP) から10人の学生が、1月から2月にかけてはスウェーデンの工学系高校 NTI 校のアカデミック・インターンシップで5人の学生が本校に滞在しました。

SP校から交流プログラムは以前より行われており、今回は5年ぶりの実施となりました。授業や学生会イベント、部活動体験等で、より多くの学生が交流する機会を得ることができました。昨年度から交流を始めたスウェーデン NTI からのインターンシップでは、本校の研究室に配属する形で、2週間程度の活動を行いました。



SP学生たちの歓迎会



スウェーデンからの学生・先生

<海外への学生派遣>

学生派遣としては、春休み期間中に実施した「トビタテ！留学JAPAN」、「スウェーデン研修」、フランスの「トゥールーズ・アカデミック・インターンシップ」が挙げられます。

「トビタテ！留学JAPAN」については、当プログラムに採択された学生2名が渡航しました。2年生（令和5年度）の松下瑠梨さんが「日本の原子力発電と向き合うために」という留学タイトルでカナダのオンタリオ州に約7週間の滞在、3年建築コース（令和5年度）の船原拓朗さんが「都市開発最先端の街ポートランドで学ぶ、住民主体のまちづくり」というタイトルでアメリカのオレゴン州に約4週間の滞在进行し、活動を行いました。

スウェーデン研修では、文化交流と語学研修を中心としたプログラムで、選抜された11名の学生がスウェーデンNTI3校との交流を行いました。現地学生の家庭での2泊ホームステイ等も貴重な体験となっていたようです。

フランス・トゥールーズでのインターンシップは、専攻科生1名が現地大学と連携している研究所内で滞在し、研究室での活動を行いました。数週間に渡り現地に住み、現地の方々と協働をすることができる、より発展的な活動です。



スウェーデンの学生に日本文化等を紹介するプレゼンテーション



トゥールーズの大学研究室でのインターンシップ活動

<グローバル・エデュケーション・センター> (GEC)

こうした多様な活動を支えるために、日頃の学習環境の整備も重要になっているため、今年度より、有明高専の国際交流室は「グローバル・エデュケーション・センター」(GEC)として改組し守備範囲を拡大します。平成31年度に高専機構により採択されて5年間にわたって取り組んだ「グローバルエンジニア育成事業」は、令和6年度よりこれまでの活動内容の発展をめざす形で次の5年間も継続します。より多くの学生に「世界とつながる技術者」を意識してもらえるように、派遣・受入事業に留まらず事業を実施していきます。視野を広くもって挑戦する学生たちが増えていくことを期待しています。



トビタテ！留学JAPAN@USA



トビタテ！留学JAPAN@カナダ

部活動紹介

ソフトテニス部

有明高専ソフトテニス部は高専大会全国大会出場を第一の目標に、部員約40名・顧問4名・学外コーチ1名のチームで活動しています。1～3年生は高体連の大会に、4～5年生は高専大会や一般の大会に主に参加しています。



野球部

野球部は1～3年生で構成される高野連チームと4・5年生を中心に構成される高専連チームに分かれて活動しています。高野連チームは県大会出場を、高専連チームは全国高専体育大会への出場を目標に日々の練習に励んでいます。



※学年は令和5年度当時のもの
E : エネルギーコース
C/L : 応用化学/環境生命コース
M : メカニクスコース
I : 情報システムコース
A : 建築コース



有明高専だより 第165号
編集：有明高専企画・広報室

〒836-8585 大牟田市東萩尾町150
TEL 0944-53-8861 (学生支援係)
<https://www.ariake-nct.ac.jp/>